

# 刈谷市 安心・快適で活力ある刈谷のまちづくり 鈴木浩二 市政レポート

2021.7 No.39号

連絡先: 〒448-8661 刈谷市昭和町1-1  
TEL (0566)-25-9950 FAX (0566)-23-8688

発行: 鈴木浩二



## ～ご挨拶～

梅雨も明ける季節となりました。コロナと共に生活様式には、まだまだ戸惑いもありますが、身の安全は何物にも代えられないと肝に銘じて過ごす今日この頃であります。皆様はいかがお過ごしでしょうか。

コロナワクチン接種がスタートして2か月近くが過ぎましたが、当初は予約が取れない状態が続き、多くの皆様から困惑しているお声を頂きました。改めて、丁寧な情報発信の必要性を再確認いたしました。今後も、市民の皆様への、様々な場面、方法での情報発信の強化に努めると共に、当地の産業の持つ情報通信技術等を活かし、市民サービスの向上に努めて参りたいと考えています。

さて、6月10日から6月28日の間で6月議会が開催されました。コロナ関係の補正予算としては、約2億3千万円弱の事業が可決されました。その中の一部は、子育て世帯生活支援特別給付金事業や新生児おむつ臨時助成金事業、そして、昨年同様自治体や芸術・文化団体等に対する支援などであります。詳しくは議会だよりや市民だよりをご確認ください。

今回の市政レポートでは、議会の中の一般質問で市に質した内容と、議員としての取り組みで、市民サービスの向上へ繋がった内容の一部を報告させて頂きます。

## 今回の一般質問（第3次耐震改修促進計画について）

### 1. 第3次刈谷市耐震改修促進計画について（今年4月改定）

#### 2次計画の目標に対する実績 … 計画に対し耐震化の遅れ



2期計画前は、県全体の平均以上、碧海5市中ダントツで耐震化が進んでいたが、県平均以下となり、碧海5市中2番目で横一線。

#### 3次計画の目標設定値 … 全国的に見ても低すぎる目標値

##### 住宅の耐震化



#### 目標達成の目途の無い計画 ↑ 具体策が無い状態

命と財産を守る結果に繋がって無い



南海トラフ巨大地震被害想定  
86%時（想定最大レベル想定）  
家屋の倒壊：約5200棟  
倒壊による死者：約300人

全国的に家屋の耐震化が遅れ、国が令和7年迄の目標を95%に変更（指針）  
多くの市がその目標値に設定したが…  
刈谷市は91%/令和7年

新計画の具体的に強化する取り組み（耐震性無のない家の取り壊しが増える事は期待できないので、地域の方と一緒に、耐震診断、耐震改修をお願いする）により耐震性の無い家をプラス30件/Y減。耐震化した家が30件増えても取り壊しが今迄どおりなら、耐震化率89.7%にしかならない。

- 国の示す目標を目指し、足らずじまいの具体策を埋める為、先行している市町を参考にすると共に、市の目標の妥当性を定期的に確認し、市民への被害低減に拘り取り組みを進める事。
- 先進市の耐震化のターゲットは、古い家を耐震化させることで無く、取り壊し、建て替えに繋げる方向に変化している。先行する市町の様に、取壊しや建替えに対する補助を充実する方が現実的。

以前の議会質問の要望が具現化

## 児童クラブの預かり規制の撤廃 7月1日より 夜勤週も、昼勤者同様に児童を預けられる様になる！

夜勤明けでも家にいるから、面倒は見れる！と言うが・・・  
⇒ 実際は「寝ているのに子供の面倒は見れない！」  
子どもだけで家にいる状態で、良好な子育てとは言えない。

↓ 暫定：終業後8時間の睡眠時間を認め、受け入れ開始

睡眠時間を8時間確保できるようにしたから、それ以外は家で面倒を見ろ！と言うが・・・

⇒ 通勤時間が長かったり、急な残業があったりすれば、充分な睡眠時間は確保出来ない。又、昼は、連続した睡眠時間を取り辛い。



夜勤職場で働いた自身の経験から、過去5回に渡り要望

夜勤者の受け入れ規制完全撤廃を訴えた。  
モノづくり産業の集積地  
夜勤の働き方は当たり前



夜勤規制の完全撤廃により、市内50名の児童が児童クラブでのサービスが受けられるようになった。

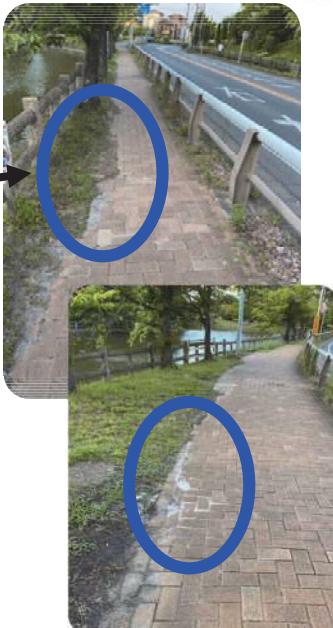
夜勤週は預けられなくても、月額の利用料金5000円を払わなければならぬ。料金の公平も解消された。

皆さんからの「要望」に対応しました！（くらしの相談の紹介）

### ●亀城公園外周の歩道凸凹の改修



歩道全体で何ヶ所も深い凸凹ある状態



インターロッキングを埋め直し凸凹解消  
自転車・歩行者が安全に通行できる様になった。

### ●生活道路内のバス通行路線の白線塗り直し

狭い生活道路、白線が消えておりスレ違いが危険！



生活道路を公共施設連絡バスが迂回



外側線塗り直し

迂回路線全体の白線を塗り直しました。  
大型バスとすれ違う時に、通行しやすくなった。

### くらしの相談



地域での困りごと、市政に対するご意見・ご要望等がありましたらお気軽に「鈴木浩二 くらしの相談室」をご利用ください。

TEL : 0566-25-9950 FAX : 0566-23-8688

ホームページを開設しました。お時間ありましたら是非ご覧ください。

鈴木浩二

検索



ホームページからも受付けております。